

世界のMETオーケストラ 18年振りに兵庫へ！
ヤニック・ネゼ＝セガン指揮
METオーケストラ来日公演



エリーナ・ガランチャ
(メゾソプラノ)



クリスチャン・ヴァン・ホーン
(バスバリトン)



リセット・オロペサ
(ソプラノ)

2024
6.22(土) 23(日) 各日 15:00開演(14:15開場)
兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)



兵庫県立
芸術文化センター

© Rose Callahan / Met Opera

6.22(土)
プログラムA

ワーグナー：歌劇『さまよえるオランダ人』序曲
ドビュッシー：歌劇『ペレアスとメリザンド』組曲(ラインスドルフ編)
バルトーク：歌劇『青ひげ公の城』(演奏会形式・日本語字幕付)
エリーナ・ガランチャ(メゾソプラノ) クリスチャン・ヴァン・ホーン(バスバリトン)

6.23(日)
プログラムB

モンゴメリー：すべての人のための讃歌(日本初演)
モーツァルト：アリア「私は行きます、でもどこへ」「ベレニーチェに」
リセット・オロペサ(ソプラノ)
マーラー：交響曲第5番 嬰ハ短調

主催：フジテレビジョン／兵庫県／兵庫県立芸術文化センター
運営協力：キョードー大阪 招聘・制作：フジテレビジョン

METオーケストラアジアツアーはバンク・オブ・アメリカおよびロッキスによる支援を受けています。

BANK OF AMERICA

ROLEX



公式サイトQRコード

待望の来日! ネゼ=セガン率いる“METオーケストラ”、新時代の幕開け

巨匠への道をひた走る音楽監督ヤニック・ネゼ=セガン指揮による名作オペラとシンフォニー。

世界中の名歌劇場を席卷する人気歌手たちと共に“METオーケストラ”が新しい風を日本に巻き起こす!

METオーケストラ

(管弦楽)

The Met Orchestra



©Evan Zimmerman / Met Opera

1883年メトロポリタン歌劇場(MET)創立とともに発足。オペラとコンサートの両方で革新を重ね、今や世界を率いるシンフォニー・オーケストラの一つとして地位を獲得。20世紀最大のイタリア指揮者の一人トスカニーニは、1913年METオーケストラの交響曲公演指揮者としてアメリカデビューを果たしたほか、ラフマニノフ、ルービンシュタイン、カザルス、ホフマン、ブゾーニ、ハイフェッツ、ローゼンタール、クライスラーなどが共演している。近年ではパールマン、ヴェンゲローフ、ブレンデル、ポリニ、キーシン、テツラフ、フレミング、ガーキー、デイドナート、ボレンザーニたちがソリストとして登場。現代作曲家たちによる世界初演も多数行っている。

ヤニック・ネゼ=セガン

(指揮)

Yannick Nézet-Séguin, conductor



©George Etheredge

カナダ生まれの指揮者・ピアニスト。2018年メトロポリタン歌劇場音楽監督就任。2012年よりフィラデルフィア管音楽監督、2000年よりモントリオール・メトロポリタン管芸術監督兼首席指揮者も務める。これまでにロッテルダム・フィル音楽監督(現名誉指揮者)、ロンドン・フィル首席客演指揮者も務めた。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ヨーロッパ室内管なども緊密な関係を築き、スカラ座、コヴェント・ガーデン、ウィーン国立歌劇場や世界主要音楽祭にも度々登場。近年では初のピアノ・ソノラルバム『Introspection』もリリース。これまでにグラミー賞11部門にノミネートされ、2023年はMETオーケストラおよびルネ・フレミングとの作品で2つのグラミー賞に輝いた。

6/22(土)

エリーナ・ガランチャ

(メゾソプラノ)

Elina Garanča, mezzo-soprano



ラトビア出身。現代最高メゾソプラノの一人。2008年『セビリアの理髪師』ロジーナ役でデビュー以来METの常連。マイニンゲン、フランクフルト、ウィーン国立などの歌劇場を経て、世界主要音楽祭やホールに定期的に登場。最近ではバイロイト音楽祭に『バルジファル』クドリ役でデビュー。今シーズンはベルリン国立歌劇場で『アイダ』アムネリス、スカラ座で『ドン・カルロ』エボリア女などを歌うほか、サンタ・チェチーリア管とのヴェルディ『レクイエム』、METオーケストラやウィーン室内管とのコンサート、リサイタルなどを予定している。

6/22(土)

クリスチャン・ヴァン・ホーン

(バスバリトン)

Christian Van Horn, bass-baritone



©Simon Fauly

ニューヨーク出身。2013年『ファルスタッフ』ピストーラ役でMETデビュー。その後『ラ・ボエーム』コッリーネ、『アイダ』ランフィス、『ノルマ』オロヴェーゾ、『放蕩息子の遍歴』ニック・シャドー、『フィガロの結婚』フィガロなど幅広い役で多数出演。2018年『リチャード・タッカー賞』受賞で一気に注目を集める。ウィーン国立、バイエルン国立、パリ・オペラ座、シカゴ・リリック、ザルツブルクなどの主要歌劇場や、クリーヴランド管、シカゴ響、サンフランシスコ響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などのコンサートに定期的に登場。

6/23(日)

リセット・オロペサ

(ソプラノ)

Lisette Oropesa, soprano



©Steven Harris

ニューオーリンズ生まれ。METのリンデマン・ヤングアーティスト・プログラムを経て、2006年『イドメネオ』でMETデビュー。以来、18役で150公演近くMETに出演。今シーズンはウィーン国立歌劇場で『ウィリアム・テル』マティルデ、パリ・オペラ座で『ジュリオ・チェーザレ』クレオパトラ、東京とナポリで『椿姫』ヴィオレッタなどを歌うほか、METオーケストラとともに世界各地に登場。ザルツブルク、グライントホーンなど主要音楽祭に加え、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、サンタ・チェチーリア管などのコンサートにも度々招かれている。

チケット一般発売開始日 2024年2月予定 <先行発売> 兵庫芸文会員先行 2024年1月19日(金)10:00より

※決定次第ウェブサイトなどお知らせいたします。

料金(全席指定・税込)

<プログラムA=6/22公演> S席 40,000円 A席 35,000円 B席 32,000円 C席 28,000円 D席 24,000円 E席 20,000円
<プログラムB=6/23公演> S席 36,000円 A席 31,000円 B席 28,000円 C席 24,000円 D席 20,000円 E席 16,000円

チケット発売窓口 ※取扱いは各プレイガイドにお問合せください。

電話 ○芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255(10:00~17:00 月曜休・祝日の場合は翌日)

○CNプレイガイド 0570-08-9999 ※0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれない場合がございます。

WEB ○芸術文化センターチケットオフィス ○チケットぴあ ○ローソンチケット ○CNプレイガイド ○イープラス ○フジテレビダイレクト

店頭 ○芸術文化センター2階総合カウンター ※残席がある場合のみ、一般発売の翌営業日より開始。 ○セブンイレブン ○ローソン・ミニストップ

ご予約・お問い合わせ:芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255(10:00~17:00 月曜休・祝日の場合は翌日) <https://www.gcenter-hyogo.jp>

【ご注意】※一度お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除き、キャンセル・変更をお受けすることが出来ません。また、病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合も、払い戻しは承りません。※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらの鑑賞はご遠慮ください。※開演時間に遅れますと休憩までご入場をお待ち頂く場合内指定位置でのお立ち見のご案内となります。※車椅子のご予約は、芸術文化センターチケットオフィスにてお申し付けいたします(S席料金)。※公演に関するお問い合わせは、クラシック事務局TEL:0570-012-666(平日12:00~17:00)まで。